

大会名 Competition	第25回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2012 年 5 月 5 日 15 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB
明	成	能代工高
	95	83
	○	●
	(30 1st 29)	
	(25 2nd 20)	
	(18 3rd 19)	
	(22 4th 15)	
	(OT)	

主審:Referee 藤垣 庸二
副審:Umpire 北沢 岳夫 小野寺 浩
テーブルオフィシャル:Table officials 能代北高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		金子大希	cap	-	-	-	-	0	4	×	土屋真人	CAP	13	0	4	5	0
5	×	目黒翔馬		12	1	4	1	0	5	×	佐々木健登		19	0	9	1	1
6	×	伊藤尚人		12	0	5	2	4	6	/	松本大河		1	0	0	1	0
7		築井良知		-	-	-	-	0	7	/	野里惇貴		20	3	5	1	2
8	/	和田一斗		0	0	0	0	1	8	/	三根一求		2	0	1	0	3
9		中村優斗		-	-	-	-	0	9		畠山凌		-	-	-	-	0
10	×	齋藤拓己		21	5	2	2	2	10	×	中島強太		7	0	3	1	3
11	×	宮本滉希		29	0	13	3	2	11	/	五十嵐 駆		0	0	0	0	1
12		柳川知之		-	-	-	-	0	12	×	小田桐 匡志		21	4	4	1	1
13	/	市原知臣		2	0	1	0	1	13	×	長谷川 暢		0	0	0	0	2
14	×	森知史		15	0	7	1	4	14		吉川 雄麿		-	-	-	-	0
15	/	高柳紗万		4	0	1	2	0	15	/	荒木 直哉		0	0	0	0	1
16	/	白戸大聖		0	0	0	0	0	16		伊藤 諒哉		-	-	-	-	0
17		松本健寛		-	-	-	-	0	17		安 保 友貴		-	-	-	-	0
18		植村哲也		-	-	-	-	0	18		渡 邊 竜也		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤久夫							コーチ		佐藤信長						
アコーチ		吉村康夫							アコーチ		平山智哉						
合計				95	6	33	11	14	合計				83	7	26	10	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤、激しいディフェンスから速攻を繰り返し、試合の主導権を握ろうとする能代工は#4土屋のレイアップで先制する。さらに能代工は#12小田桐を中心に果敢にドライブを仕掛け9-17とリードを広げる。対する明成は#10齋藤の3P、#14森のゴール下と確実に得点を上げて追い上げを図る。後半にシュートが落ち始めた能代工に対し、明成は終了間際に#10齋藤の3Pで逆転、30-29と明成1点リードで1Q終了。

2Q、能代工はガードの厳しいプレッシャーからリズムをつかみ、#12小田桐の3Pで逆転するとさらに#10中島のステップイン、#12小田桐の連続得点で34-39と明成を突き離しにかかる。明成は#10齋藤の3Pで必死に離されまいと対抗する。残り3分余りで43-43と同点となったあたりから能代工に疲れが見え始めパスミスやシュートミスが目立つようになる。逆に明成は#11宮本にボールを集め、高さを生かしたプレーで次々と得点を上げ、能代工を引き離し、55-49と明成6点リードで2Qを終了する。

3Q、明成は前半同様に#11宮本のゴール下のプレーで着実に得点を伸ばし、点差を二桁に乗せるが、能代工は#4土屋が果敢にドライブを試み気迫のこもったプレーで食らいついていく。中盤オフェンスのスピードを落とし始めた明成に対し、能代工は#5佐々木の連続得点を上げる活躍で一時65-61の4点差まで詰め寄る。明成は#15高柳のゴール下などで点差を広げるものの、終了間際に能代工#8三根がジャンプシュートを決め、73-68と明成5点リードで最終Qへ。

4Q、ノーマークのゴール下のシュートを落とすなどミスが目立った明成に対して、能代工は#7野里の連続得点で一気に同点とするとさらに#7野里のレイアップでついに77-79と逆転する。ここで明成は焦ることなく#5目黒が確実にジャンプシュートを決め追いつくと、その後は一進一退の攻防となる。残り3分を切ったあたりから能代工に疲れが見え始め、ターンオーバーが多く見られるようになる。対する明成は#13市原のレイアップや#5目黒の3Pで差を広げ始める。能代工は#7野里が連続得点し人気を吐くものの、追いつくには至らず。結局95-83で明成が能代カップ最終試合を勝利で飾った。

文責 【 山本 太志 】